

# 平成28年度病害虫発生予報第6号

平成28年 9月 2日  
愛 知 県

## 普通作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
イネ	いもち病 (穂いもち)	平年並	県全域	8月下旬の早期栽培での発生量は平年並 主要品種は穂いもちに強い 9月の降水量は平年並が多い	± — ±～+
	紋枯病	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並が多い	± ±～+
	トビイロウンカ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	ツマグロヨコバイ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない	—
	コブノメイガ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	フタオビコヤガ	少ない	県全域	8月下旬の発生量は少ない	—
	斑点米カメムシ類	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
ダイズ	ハスモンヨトウ	平年並	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温は高い	— ± +
	オオタバコガ	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±

### ・留意事項

大口町に設置してある予察灯において、トビイロウンカが8月11日、15日に1頭ずつ誘殺されました。本虫が多発生すると坪枯れ等の被害が発生する可能性があります。ほ場をよく観察し、今後の発生に注意して下さい。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ウンシュウミカン	黒点病	やや少ない	県全域	8月の枯れ枝上の孢子形成量は やや少ない 9月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
	ミカンハダニ	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± ＋
	チャノキイロアザミウマ	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	± ＋
モモ	せん孔細菌病	多い	県全域	8月下旬の発生量は多い 9月の降水量は平年並か多い	＋ ±～＋
	モモハモグリガ	やや少ない	県全域	8月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない	－ －
ブドウ	べと病	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
カキ	炭疽病	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	うどんこ病	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
果樹共通	カメムシ類	平年並	県全域	予察灯における誘殺数は平年並 カキにおける8月下旬の被害果率は平年並	± ±

### ・防除対策

#### [ウンシュウミカン・ミカンハダニ]

発生量の多いほ場ではスターマイトフロアブルやコロマイト水和剤などで防除しましょう。

#### [ウンシュウミカン・チャノキイロアザミウマ]

チャノキイロアザミウマ第7世代成虫の発生ピークは、名古屋9月10日、大府9月13日、伊良湖9月15日、蒲郡9月17日、愛西9月17日、豊田及び南知多9月19日、岡崎9月20日、豊橋9月21日、新城9月26日と予測します。発生ピーク予測日を参考にアルバリン/スタークル顆粒水溶剤やコルト顆粒水和剤などで防除しましょう。

#### [モモ・せん孔細菌病]

本日発表の「モモせん孔細菌病の秋季防除情報」を参考に防除しましょう。

### ・留意事項

ナシうどんこ病やナシ黒星病の発生が多いほ場では、本日発表の「ナシにおける病害の秋季防除情報」を参考に防除を徹底しましょう。

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キャベツ	黒腐病	平年並	県全域	前年11月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並が多い	± ±～+
キャベツ ハクサイ ダイコン	コナガ	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は多かった 8月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	+
	シロイチモジ ヨトウ	多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は多い	± +
	ハイマダラノ メイガ	やや多い	県全域	8月の発生量は平年並 9月の気温は高い	± +
野菜共通	ハスモンヨト ウ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はおおむね平年並 9月の気温は高い	± +
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 9月の気温は高い	+

### ・防除対策

#### 〔キャベツ、ハクサイ、ダイコン・コナガ〕

アファーム乳剤やディアナSCなどで防除しましょう。

#### 〔キャベツ、ハクサイ、ダイコン・シロイチモジヨトウ〕

デルフィン顆粒水和剤やコテツフロアブル（キャベツのみ）などで防除しましょう。

#### 〔キャベツ、ハクサイ、ダイコン・ハイマダラノメイガ〕

キャベツ、ハクサイは定植時に粒剤やかん注処理剤で、ダイコンは、は種時に粒剤などで防除しましょう。定植後はアニキ乳剤やディアナSCなどで防除しましょう。

#### 〔野菜共通・ハスモンヨトウ〕

キャベツ、ハクサイではアニキ乳剤やディアナSCなど、野菜類はデルフィン顆粒水和剤などで防除しましょう。

#### 〔野菜共通・オオタバコガ〕

本日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参照して下さい。

### ・留意事項

アブラナ科野菜を加害するチョウ目害虫が、全般的に多くなっています。8月20日から25日の調査では、調査ほ場において害虫の発生を認めませんでした。現在は苗床を含めてコナガやハスモンヨトウは発生量が多いほ場があります。早期発見に努め、早めに防除しましょう。

トマト黄化葉巻病の発生が多いほ場があります。トマトやミニトマトでは、本病の病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの防除を徹底しましょう。ベストガード水溶剤、コルト顆粒水和剤などで防除するとともに、感染株は発見次第抜き取り、適切に処分しましょう。

イチゴでは、本ほにハダニ類を持ち込まないように、必ず定植直前に防除を徹底しましょう。成虫と幼虫の両方に効果のあるアファーム乳剤や、幼虫に効果のあるモベントフロ

アブルのかん注処理と成虫に効果が期待されるコロマイト水和剤や気門封鎖型農薬などを組み合わせて用いると良いでしょう。炭酸ガス処理をした場合、処理後の苗をハダニ類の発生した育苗ほに戻すと再度ハダニ類が寄生してしまうので、注意しましょう。

## 花き

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キク (露地)	アブラムシ類	平年並	県全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	県全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± +
	ハスモンヨトウ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はおおむね平年並 9月の気温は高い	± +
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 9月の気温は高い	+ +

### ・防除対策

#### [キク (露地) ・ハダニ類]

マイトコーネフロアブル (ナミハダニ) やコテツフロアブルなどで防除しましょう。

#### [キク (露地) ・ハスモンヨトウ]

ロムダンフロアブルやアニキ乳剤で防除しましょう。

#### [キク (露地) ・オオタバコガ]

本日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参照してください。

### 参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方气象台9月1日発表)

#### 〈特に注意を要する事項〉

期間のはじめは、降水量の少ない状態が続く所があるでしょう。

#### 〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、高い確率50%です。

#### 〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気温] 低い : 10% 平年並 : 30% 高い : 60%

[降水量] 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%

[日照時間] 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%